

ボランティアセンター 東日本大震災支援ニュース

日本医療福祉生協連 近畿ブロック

2011年6月13日 No35
発行担当 たじま医療生協・大谷

みやぎ県南医療生協 槻木事務所 連絡先 090-6056-8275

地元の常務理事はやっぱり“100人カ”

仮設1箇所と11件を訪問と1ボランティアリーダーにもお逢いできました。

旧坂元中学校跡地の仮設住宅を訪問。昨日は子どもたちが多く遊んでいて賑やかでしたのにスケートも横たわっていて今日は静か。「自衛隊の応援でのバーベキュー会」の計画の話などお聞きしました。

入り口横には“ひまわりが咲いていたり、野菜も芽吹いていて何か元気もいただきました。

訪問先では、“衣類が夏物の不足の希望”“協同側溝の泥上げ”の支援要請が多く聞かれます。うれしかったのは支援を受けて家が綺麗になり気力が無かったのに“ちょっとや

ってみる気になって来た。”“先日役場から「位牌」の届け物があるとの連絡で、いただいてきた。”と現物を大事そうに持ち出して見せてくれた。このお宅では前の畑で早く「イチゴ」が作れないかなって、畑の整理の支援が出されています。

今日は地元理事との同行もあり、他のボランティアとの歩調を合わせるなど、共同が広がりました。

・・・昨日は震災からちょうど3ヶ月・・・

訪問していても、未だ立入禁止区域があり、そこでは遺体探しが続いているとか、隣の地域ではまだ電気がきていない所があるとか聞かれます。

山元町での避難所の710人から574人に場所も5箇所から近々3箇所に減少、仮設住宅への移動が徐々に進んでいます。でも仮設にはクーラーがなく今度は暑さとの戦いが始まりそうです。

